

事務事業名	53200 短期人間ドック事業	予算科目	会計 国保(事業)	款 4	項 1	目 1	所管課 保険年金課	担当班 国民健康保険班
施策体系	基本施策 5 保健の充実 施策の展開 12 病気予防対策の充実	根拠法令	旭市国民健康保険短期人間ドック事業実施規則				事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業
施策の展開		戦略事業	59 短期人間ドック事業					

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	指定医療機関(旭中央病院、飯倉医院等5箇所)で短期人間ドックを受診した被保険者にその費用の70%を助成する。助成上限額は3万円。【対象者】40歳以上、国保税完納者、医師の治療を受けていないこと又は治療を受けているが支障がないこと、特定健診を受診していない。【検査内容】1日ドック:尿検査、血清検査、細胞診、血液算定検査、生化学検査、理学的所見、身体計測・血圧、肺機能検査糖代謝検査、視力・眼底検査、心電図検査、背部X線検査、胃内視鏡検査、腹部超音波検査。2日ドック:1日ドック内容、血液型、便検査、聴力検査、直腸診、乳房診、前立腺検査 【受診料】医療機関、ドックの種類によって異なる。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
国保被保険者の疾病の予防、早期発見および早期治療に役立たせることにより健康増進と国民健康保険事業の健全運営を図るため。	H17～H22年度まで受診費用の85%助成し、契約医療機関は3件であった。H23年度から、近隣市、他保険者(社会保険等)の状況から受診費用の70%助成として助成上限額を設定し、契約医療機関が2件となった。H26年度より上限額を3万円とし、医療機関が5件となる。H27年度途中より、契約医療機関受診分のみ償還払いを可とした。	旭中央病院の受診枠がすぐ埋まってしまい、希望の日程が取れないとの苦情がある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算) 単位:千円	
1.人間ドック委託料	36,500 人間ドック事業委託
2.人間ドック助成金	29 償還払助成金
② 特定財源の内訳(1年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	
2.都道府県支出金	2,335
3.地方債	
4.その他	14,347 人間ドック自己負担収入

事業費	費目内訳	1.人間ドック委託料	千円	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
		2.人間ドック助成金	千円	35,853	37,462	37,694	36,500	38,380
財源	事業費計(A)	1.国庫支出金	千円					
		2.都道府県支出金	千円			2,307	2,335	2,275
		3.地方債	千円					
		4.その他	千円	14,702	15,024	15,084	14,347	15,342
		5.一般財源	千円	21,180	22,468	20,421	19,847	20,823

前年度増減理由	前年度74歳で受検された方が、後期高齢者医療制度に移行したため。
---------	----------------------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

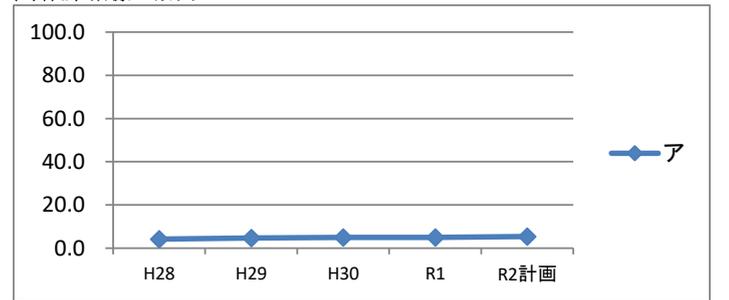
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動) ・人間ドック受診費用を助成。(40歳以上の国保被保険者) ・広報掲載(年2回)し、周知を図る。	ア 人間ドック受診者数	人	725	755	764	743	770
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 指定医療機関数	件	5	5	5	5	5
	対象意図 40歳以上で国保税を完納し、特定健診を受診していない国保被保険者 疾病を早期発見する。 自身の健康に対する意識が向上する。	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
対象意図		ア 人間ドック受診率(人間ドック受診者数/40歳以上被保険者数)	%	4.2	4.7	5.0	5.0	5.4

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	コスト比率 下位 1/3
	普通	ある程度ある	中位 1/3
	小さい	ほとんどない	上位 1/3
	5		4

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 成果指標イ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主要事項について記載)	時期 通年 内容 引き続き広報等で周知する。近隣市町の契約状況等を把握し、契約医療機関の拡大を検討していく。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他( )
	通年 引き続き広報等で周知する